キララちゃんを探せ！！

1年E組　清野 陽太・城戸康太

〈注意〉

・今回使用したキララちゃんバス及び路線バスの時刻は、2026/04/30時点のものです。現在とは異なる場合があります。

・情報は精査して記事を書いておりますが、一部には誤りがある可能性がありますので、ご注意ください。

・写真が白黒のため、キララちゃんバスのバスマップなどは読みづらいかもしれませんが、ご了承ください。

・文章が読みにくいかもしれませんが、ぜひ最後まで読んでください！



〈企画説明〉

本企画は、2026/04/30に清野と城戸が実施した、清野が土浦駅周辺を走るバス「キララちゃんバス（正式名称：まちづくり活性化バス「キララちゃん」）」の停留所で周辺の写真を撮り、バス愛好家の城戸がその写真をもとに最速でキララちゃんバス以外の路線バスと己の足を使って追いかけるという企画である。清野はキララちゃんバスの停留所を事前に決めて移動し、城戸は、A～Cコースのどのルートか知らない上で土浦市の観光MAPとキララちゃんバスの路線図、そして現地土浦民の知識を用いて追跡した。

〈キララちゃんバスについて〉

キララちゃんバスとはNPO法人まちづくり活性化土浦が運営する、土浦駅周辺を走行する中心市街地活性化を目的としたコミュニティバスである。キララちゃんバスには3つのルート ―クラフトシビックホール前などを通る真鍋方面のコースの「Aコース」、亀城公園前や土浦保健所前などを通る「Bコース」、霞ヶ浦総合公園（水郷公園）の方面の「Cコース」― があり、いずれのコースも土浦駅西口を起終点とする。現在の運行受託事業者は全コース関東鉄道であるが、2017年度まではAコースのみ土浦地区タクシー協同組合が受託していた。

なお、運賃は大人150円、小人80円(ICだと75円)、未就学児は無料、障がい者は介助者1人も含め運賃半額になるが、全てのルートで1時間に1本しか来ないのがネック。

運賃はSuica・PASMOおよびTOICA、manacaなどの交通系ICカード全国相互利用サービス対応カードで支払いができるほか、専用の回数券や一日乗車券も存在する。一日乗車券は車内で購入ができるが、回数券は2021年3月末をもって車内販売を終了し、現在はNPO事務局と関東鉄道土浦駅前サービスセンターでのみ販売になっているため注意しよう。



右の写真は城戸が購入したキララちゃんバス一日乗車券の写真である。本来は青を基調としたとても可愛らしいものとなっているので見てみてほしい。

土浦市内を走るコミュニティバスには「つちまるバス」もあり、あちらは定員数も少ないが、こちらは定員数28名と余裕があり、価格もつちまるバスと比べて安価である。また、つちまるバスは市が関鉄に委託して運行されている。

なお、以降本文ではこれを「キララちゃんバス」と表記する。



←土浦駅に並ぶ3台のキララちゃんバス。
一番右は予備車である。(Bさん提供)

車番と車種は、右から
2167TC(日野ポンチョHX9JHAE '18年製)、
2259TC(日野ポンチョHX9JHAE '24年製)、
9586TC(日野ポンチョSDG-HX9JLBE '12年製)。



〈本編〉

04/30、放課後に本企画を行なった。17:00のキララちゃんバスに乗車した後、右のような写真が送られてきた。これを読んでいる人も城戸と一緒に当ててみよう。

まずわかるのは、送られてきた橋下に常磐線の線路が通っていることだ。キララちゃんバスのルートの近くに常磐線の線路が通っているのは、

①Aコース　湯楽の里土浦店～アール医療専門職大学
②Aコース　　港　橋　　～　東　崎　保　育　所
③Cコース　富　士　崎　町～　コ ー プ　つ ち う ら
④Cコース　　三　番　橋　～　　カ ス ミ 高 津 店

の4つである。

一応、Cコース「お山の公園」付近にも常磐線があるが、そちら側は住宅街なのと、常磐線の線路がある付近は橋下でなく、草木が生い茂っている場所なため除外した。



この中で、城戸はまず①を予想した。①に行くためには、真鍋橋から歩く、そう考えていた。バスまで時間があったため、土浦駅をうろうろしていたら、部活帰りのIくんと会った。Iくんには僕より土浦との距離が近いはずなので(私は附属中に入るまで土浦に行くことがほぼありませんでした)企画の趣旨を説明して、一緒に考えてもらいましたが、土浦民の彼でさえ分かりませんでした。
だから17時35分発の柿岡車庫行き*1に乗車した。

しかし！！！！

肝心なことに気付いた。そう、10分後にもっと近くの真鍋新町付近を通るバスがあることを！そしてそれは川口町から乗れることを！！

私は柿岡車庫行きのバスを桜橋で降り、すぐ来た土浦駅行きのバスへ飛び乗った。

桜橋17:40発土浦駅行きへ乗り、川口町で降りた。この時はまだ、真鍋新町方面の神立駅行きに乗り継ぐ予定だった。

しかし！！！！！！！！

手元の路線図を見てみると、①と②の近くにはキララちゃんバスのバス停はないということに気付いた。③、④へ行くためのバスはあと5分で土浦駅を発車してしまう！！そしてその次のバスはなんと40分後、実施したのが平日の放課後だったこともあり、40分後のバスだと帰ってくるのが遅くなってしまう！！川口町で降りて駅まで猛ダッシュした。
17:50発荒川沖駅東口行き*2に無事間に合った。さて、どのバス停で降りようか、降りる可能性がある場所として、北桜ヶ丘、桜ヶ丘、南桜ヶ丘が考えられる。まあ、一番単純で近そうな桜ヶ丘でいいか、橋っぽいところだからまず三番橋へ行ってみよう！と桜ヶ丘バス停まで乗った。

すると見事的中！バス停に清野がいた。





というわけで正解は、キララちゃんバスCコース 霞ヶ浦循環*3の「三番橋」であった。
ポイントは、常磐線の線路と周辺地域が市街地ではないこと。
候補が①②③④とある中で、③は歩道が橋下のため違い、①や②は歩道が橋上になっているが周辺が市街地のため写真より建物が多い。
よって消去法で④だと分かり、その周辺のキララちゃんバスのバス停で最も近い「三番橋」であることがわかるだろう。

その後、二人でキララちゃんバスで土浦駅まで帰った。帰りのバスでは地元の方に話しかけられた。これを全部説明するのは大変なので、部活なんですーと言っていた。まあ、部活の一部だから…（体操服着ていてよかった…）

〈まとめ〉
今回は清野がキララちゃんバスに乗りたいがために用意した企画だったが、いかがだっただろうか。
所感としては、企画上、どうしても清野のほうがバス停で待っているだけなのでこのような部誌を作成する上では内容が薄くなりやすく、かつ待っている方も暇だった。
また、キララちゃんバスの都合で、停留所が通常の路線バスが停留しない、土浦駅東口方面などの場所に行ってしまうため、本筋から逸れないように避けないといけないのがとてもつらかった。土浦駅東口などには、春になると桜が咲き乱れる港町周辺などとても綺麗な場所があるので是非行ってみてほしい。
そして、写真を基に場所を当てる都合上、あまりヒントのない場所を撮っても分からず、逆に地名が書いてあるなどの情報があるとすぐに分かってしまうという難点があった。思ったよりも問題を考える側にもセンスが必要になるため、これでも場所が限られてしまった。
しかし、企画のアイデア自体は我ながらおもしろく、少しルールを変えたり、付け加えたりするともっと面白いものになるのではないかと思った。
次回このような企画があった場合、企画を行なっている人全員がつまらなくないように考える必要があり、なおかつあまり企画を行なう人が少ししか頭を使わないような企画だと上手く行くのかなーと感じた。
今回は企画を清野が急に決定してしまったため、2人の予定があまり合わなかったが、とても楽しい企画だった。

参考文献
キララちゃんバスのサイト
関東鉄道バスバスロケ
関東鉄道

スペシャルサンクス
土浦駅で会ったIくん



〈バスメモ〉
＊1　路線:土浦駅～柿岡車庫線
関東鉄道石岡営業所が運行。土浦一高前を通るため、みなさんとも馴染みが深かっただろう。しかし、昨年度のダイヤ改正で1日2往復に減便されて（ほとんどが土浦駅～中貫の区間便になっただけのため、一高生にはあまり影響はない）しまい、柿岡車庫始発は朝2本、柿岡方面行きは夕方2本だけ（平日）となってしまった。そのため、柿岡方面に住んでいる人でないと乗る機会はほぼなくなってしまっただろう。前ページの下の写真は終点の柿岡車庫の写真（別日に撮影）。周辺には~~殺風景な~~ うつくしい景色が広がっている。

車両:9566IS 土浦200か1916

川崎鶴見臨港バス（名前の通り川崎とか鶴見らへんのバス会社）からの中古車。9566ISと言われてもよくわからない人がほとんど（わかる人がいたらそれはただの関東鉄道バスマニアですね）。凄く簡単に言うと、1000の位が9ならば中古車で、1か2は関東鉄道が新車で購入した車両。ナンバーの右上（車体前面）に書いてあるのでぜひ乗った時は見てみてほしい。ちなみに1000の位が5や6や8など例外が沢山あるので気になった人はネットなどで調べてみてほしい。ここで述べるにはマニアックすぎるのでやめておく。ちなみに、下3ケタは通し番号。つまり、これは関東鉄道で566番目に購入された中古車である。

＊2　路線:土浦駅～荒川沖駅線

関東鉄道土浦営業所が運行。小岩田や桜ヶ丘などは住宅地が広がっているため、通勤・通学路線としての性格が強いのだろう。烏山団地行きや小岩田循環なども途中までは同じルートを通る（実は烏山団地行きは午前と午後で経由地が異なる。午前中（14時まで）は桜ヶ丘を、午後（15時以降）は小岩田団地入口を通る。

車両:9521TC 土浦200か1771

京成バスからの中古車。関東鉄道バスは中古車の中でも京成グループのバス会社出身の車がとても多い。ではそれはなぜか？そう、それは関東鉄道も京成グループの一員だから。京成グループはメインは京成電鉄だが、みなさん大好き（？）東京ディズニーリゾートを運営しているオリエンタルランドも実は京成グループ。関東鉄道とオリエンタルランドが同じグループ会社ってなんか意外ですよね。それはそれとして、今まであまり車種について触れていなかったが、9521TCも先ほど述べた9566ISもどちらもいすゞのエルガという車両。関東鉄道バスはいすゞの車両の割合が高い。あ、キララちゃんバスの車両はトントントントンヒノノニトンで有名な日野自動車が作っているポンチョという車両。

＊3　路線:キララちゃんバス**C**コース

霞ヶ浦水郷公園や、大岩田などを通る、キララちゃんバスのうちの一つ。城戸は中学校のとき附属中科学部の納豆班というものに所属していて、まあ、納豆を使って霞ヶ浦の水質を改善しよう！みたいなものだったのだが、その部活でよくオランダ風車や霞ヶ浦湖畔のあたりまで利用させていただいた、キララちゃんバスのなかで1番思い出が深い・馴染み深いコース。ちなみに納豆班は、私たちが中学校を卒業した次の週に後輩らが解散してしまったため、附属中科学部で現存している班ではない。

車両:9586TC. 土浦200か1964

これも京成バスからの車両。屋根が一部窓になっていて、光が差し込んでくるのが特徴だ。キララちゃんバスの車両が検査などで足りなくなってしまった時に代走車として使われるので、まあ縁の下の力持ちみたいなもの。こちらの車両は先ほど述べた通り日野ポンチョという車両。ちいさくてかわいいですね。

城戸は、今回のバス旅での最速ルートを17:45分発の小岩田循環だと思っていました。しかし、小岩田循環は小岩田団地のほうをまわってから桜ヶ丘を経由するため、17:50発の荒川沖駅東口行きが最速ルートだったのです。紆余曲折ありましたが、正解ルートを選べていてとてもうれしいです。



